

裾野麗峰山の会・山行報告書		文・井上	写真・後藤
山行番	NO. 1991		
日時	2022年9月3日(土) 濃霧・蒸し暑い・時々小雨		
山域	奥秩父・大菩薩嶺 (2057m)		
コース	長泉 6:00-みそぎ沢登山口 8:15-丸川峠 10:16-大菩薩嶺 11:40 (伊藤、井上は 12:06) - 雷岩 (昼食) 12:20~12:55-福ちゃん荘 13:54-上日川峠 (ロッチ長兵衛) 14:13~加藤さんが車を回収 14:51-千石茶屋-桃の里温泉-長泉・海鮮屋 (反省会) 18:30~20:30-解散		
標高差	上り みそぎ沢登山口約 1030m~大菩薩嶺 2057m=約 1027m 下り 大菩薩嶺 2057m~上日川峠約 1590m=約 467m		
藪漕度	上り・下り なし		
難易度	非常に困難	困難	やや困難 レ普通 やや易しい 易しい
<b>恒例のミステリー山行・桃ジュースを求めて</b>			
参加者	後藤、加藤、伊藤、合谷、井上=5名		

初めは狩野川源流リバーウォークの計画だったが、前日の大雨で中止となり、行先は知らされない、恒例のミステリーツアーだった。車に乗り込んで、ひとしきり世間話が終わったところで「ところで、今日はどこに行くのですか」と聞くと大菩薩嶺とのことだった。とりわけ驚かない。



丸川荘主人 (2018. 04. 06)

登山口に近くなっても、山の上の方はガスがかかっている。天気予報はばっちりだったのにおかしい。そのうち晴れるだろう。気温は低いが、湿度は高い。暑くないのに暑い。服を濡らした汗は乾かない。登り始めて、これまた恒例の加藤さんの「あったぁー！」の悲鳴。巨大で美しいタマゴダケが何本かとれた。丸川峠の丸川荘のコーヒーを楽しみにしていたが休業だった。



イトーさん、タマゴダケ採取

後藤さんと加藤さんと合谷さんが先行し、伊藤さんとゆっくり登る。後ろから単独の女性登山者が追いついてきた。聞くと、34歳のベトナム国籍で日本には4年住んでおり、登山は4回目。日本のIT企業に勤め、在宅ワークなので運動不足解消に登山を始めたとのこと。日本の漫画とアニメが好きで、大学で日本語と日本文化を学んだとのこと。



ベトナムの方

時折、日が差し周囲のコケや木々がきれい。大きなヒキガエルが道を横切った。小さな蜘蛛の巣が周りの小枝の間にたくさんあり、綿帽子のようだ。頂上に着くと、小雨が降っている。雷岩方面から来た登山者が大勢いて写真を撮っている。



大菩薩嶺山頂

雷岩の手前で昼食にする。小雨のため傘をさしてカップ麺を作る。食べる頃には雨が止んだ。上日川峠からの登山者は軽装が多い。町中の服装・靴の人を多く見かけた。雷岩の近くでは、人を全く恐れない鹿が1頭、至近距離で草を食べていた。

下山を開始すると少しガスが晴れ、大菩薩湖が見えた。少し遠くに食事の8頭の鹿が見えた。1頭がじっとこっちを見ている。福ちゃん荘を通過。上日川峠のロッヂ長兵衛に着くと、加藤さんが車を取りに先に下りたとのこと。

後で聞くと、ヒッチハイクをして、「仲間がへりを呼ばなければいけないほど疲労したので車を取りに行くのでのせてほしい」と頼んだとのこと。「千石茶屋で桃ジュースを飲んで」と、お礼として1000円を渡した。おかげで1時間以上時間を節約できたので、温泉に入って帰れそうだ。



無添加・桃ジュース

千石茶屋で待望の桃ジュース(200円)を注文。2年前に飲み損ねたホットコーヒーも頼んだ。桃ジュースはミキサーで作るスムージーで量が多くて冷たくて、頭がキーンとして大変だった。コーヒーは川越のコーヒー屋の豆でたいそう香りも苦みもよろしい。

桃のコンポートは直前のお客さんで終わってしまったので、瓶詰の桃のシロップ漬け(500円)を買い、おいしいそうな梅ジャム(300円)も購入した。ヨーグルトに入れるとよいらしい。

山は高湿度、濃霧、小雨、展望がなかったが、千石茶屋で大満足した。桃の里温泉(620円)で露天風呂とサウナを堪能し、帰路へ。長泉の「満貫」は満席とのことで「伊豆海鮮」に行き、勝又さんも合流し、今後の山について語り、今日を終えた。

以上



千石茶屋



雷岩